

NPR

第121期 報告書

2016年4月1日 ▶ 2017年3月31日

Contents

株主の皆様へ

セグメント別事業概要

連結財務諸表

トピックス

グローバルネットワーク

会社情報



日本ピストンリング株式会社

証券コード：6461



取締役社長 山本 彰

ごあいさつ

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに当グループ2017年3月期の事業概要等についてご報告申し上げます。

当連結会計年度における我が国経済は為替が円高に振れる等の下押し要因があったものの、雇用や所得環境の改善がみられ、景気は緩やかな回復基調が続きました。また、世界経済は一部新興国の成長鈍化や英国のEU離脱問題等の影響はあったものの、総じて堅調に推移しました。

当グループは、持続的な成長を図るべく、2018年3月期を最終年度とした第六次中期経営計画にて、「100年企業への土台作り～マーケティング&イノベーションによる企業

価値向上～」を基本方針とし、市場構造や顧客ニーズに迅速に対応し、事業基盤の拡充による企業価値向上に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

当期の業績についての概要

当グループが関連する自動車業界におきましては、中国・インド等の新興国や欧米が好調に推移し、世界の自動車生産台数は増加となりました。

当グループは、国内外自動車メーカー向けの拡販を推進したものの、為替円高影響等により、売上高は521億21百万円と前年同期に対して微減となりました。

損益面では、先行開発投資費用の増加や為替影響がありましたが、増産効果や原価低減により、営業利益は32億38百万円と前年同期比27.0%増、経常利益は28億98百万円と前年同期比18.7%増となりました。

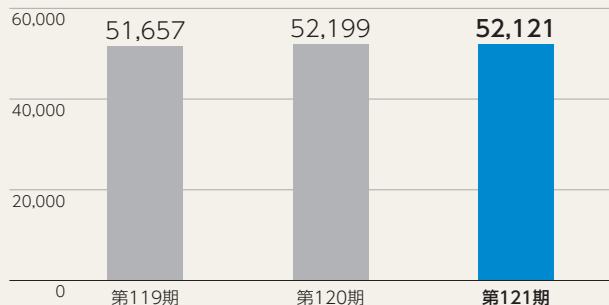
また、親会社株主に帰属する当期純利益は24億15百万円と前年同期比50.5%増となりました。これは法人税等調整額の一時的な減少等によるものであります。

なお、配当金につきましては、継続的かつ安定的な利益配分を行うことを考慮し、1株につき65円とさせていただきます。

決算ハイライト

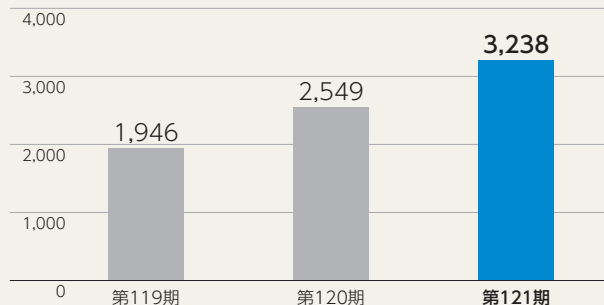
売上高

(単位：百万円)



営業利益

(単位：百万円)



次期の見通しについて

世界経済は、全体として緩やかな回復が続くものと思われませんが、米国や英国等の政策動向において依然不透明な状況にあります。

当グループが関連する自動車業界におきましては、新興国を主体とした海外市場での需要増等を背景に自動車生産台数の増加は続くものと思われまます。また、世界的な環境問題への対応強化から、低燃費、排ガス規制等へのニーズは今後一層高まるものと考えられます。

このような状況のなか、当グループは、国内外自動車メーカーとの取引拡大や、主要製品における革新的モノづくりによる原価低減の推進等により、2018年3月期の売上高は525億円、営業利益33億円、経常利益31億円、親会社株主に帰属する当期純利益21億円を予想しております。

なお、年間配当金は業績に応じた適切かつ安定的な利益配分を考慮して、1株につき70円を予定しております。

今後の事業展開について

当グループはピストンリング、バルブシート等の主要製品において新たな需要を取り込むことや、当グループの固

有技術を生かした新規事業への展開を図るべく、第六次中期経営計画にて以下の重点施策に取り組んでおります。

【基本方針】

100年企業への土台作り
～マーケティング&イノベーションによる企業価値向上～

【目標値（2018年3月期）】

売上高550億円以上 営業利益率7%以上

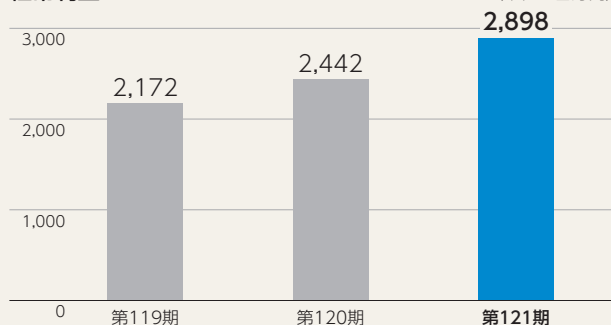
【重点施策】

- (1) 製品の差別化による戦略機種種の獲得
- (2) 革新的モノづくりの推進
- (3) 新製品（非自動車エンジン部品）の事業化推進
- (4) 人材育成強化による「世界最高品質の追求」
- (5) C S R活動の強化

重点施策の一環として、ピストンリング、バルブシートにおける北米、中国、アセアン、インド等での生産体制の整備・効率化を図っております。また、技術開発においては環境対応を第一に考え、熱効率向上、次世代自動車等に対応した製品開発のほか、非自動車エンジン分野への拡大に向けて、当グループの固有技術等を核とした新製品の開発にも取り組んでおります。

経常利益

(単位：百万円)



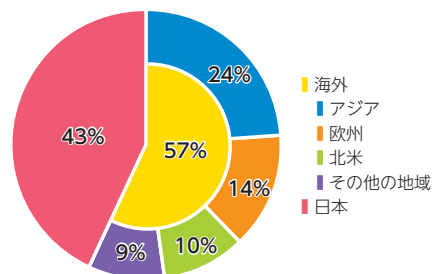
親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)



ピストンリング・バルブシートの 売上が過去最高を更新しました。

地域別売上高構成比



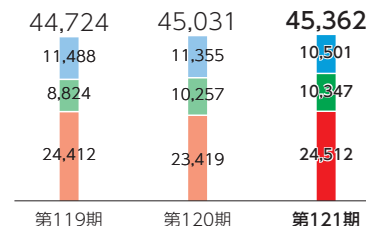
自動車 関連製品 事業

(売上高構成比)
87.0%

前年同期に対し為替が円高に振れたものの、国内外自動車メーカー向けの拡販を推し進めたことにより、売上高は453億62百万円と前年同期比0.7%増となりました。

売上高の推移

(単位：百万円)



ピストンリング

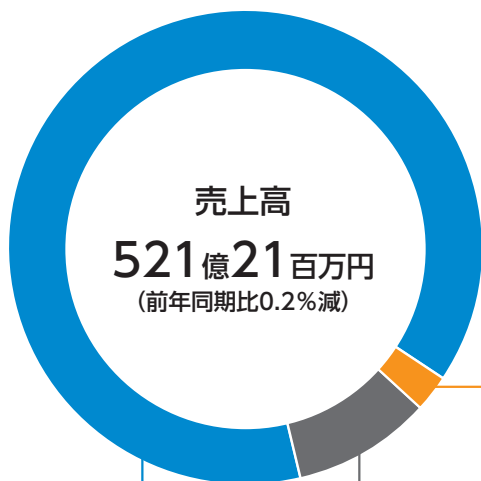
北米や中国での新規立上がり等により、売上高は245億12百万円と前年同期比4.7%増となりました。

バルブシート

中国等での受注増加を受け、売上高は103億47百万円と前年同期比0.9%増となりました。

その他自動車関連製品

組立式焼結カムシャフト等焼結製品の受注増加はあったものの、一部製品の見直しにより、売上高は105億1百万円と前年同期比7.5%減となりました。

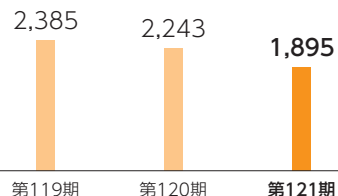


船用・ その他の 製品事業

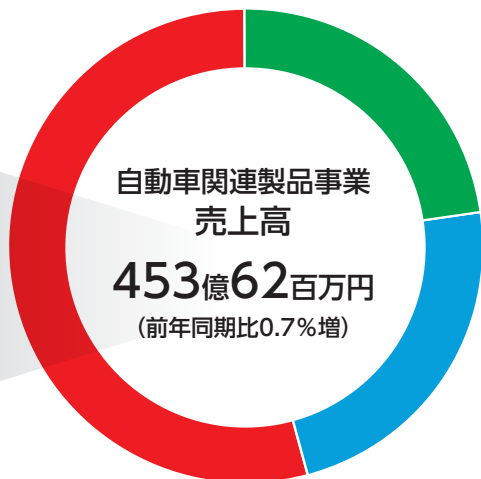
(売上高構成比)
3.7%

売上高の推移

(単位：百万円)



主にアジア新興国の成長鈍化の影響を受け、売上高は18億95百万円と前年同期比15.5%減となりました。

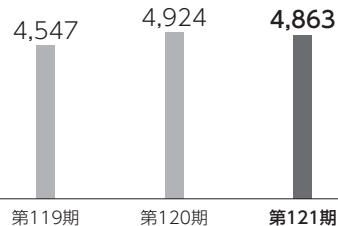


その他

(売上高構成比)
9.3%

売上高の推移

(単位：百万円)



商品等の販売事業を含むその他における売上高は、産業機器製品等が増加したものの、為替が円高に振れたことにより、48億63百万円と前年同期比1.2%減となりました。

解説

1 資産 (33億87百万円増)

「受取手形及び売掛金」10億55百万円増、「有形固定資産」9億59百万円増、「現金及び預金」5億21百万円増、「投資有価証券」5億6百万円増などによるものです。

2 負債 (18億62百万円増)

「営業外電子記録債務」8億4百万円増、「支払手形及び買掛金」3億18百万円増、「退職給付に係る負債」2億12百万円増、「繰延税金負債」1億88百万円増などによるものです。

3 純資産 (15億25百万円増)

「利益剰余金」19億19百万円増、「その他有価証券評価差額金」4億79百万円増に対し、「為替換算調整勘定」8億26百万円減などによるものです。

この結果、自己資本は303億35百万円となり、自己比率45.2%となりました。

連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

	前期末 (2016年3月31日現在)	当期末 (2017年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	24,184	25,824
固定資産	39,563	41,310
有形固定資産	30,740	31,700
無形固定資産	734	791
投資その他の資産	8,087	8,819
1 資産合計	63,747	67,135
(負債の部)		
流動負債	23,829	22,619
固定負債	10,560	13,633
2 負債合計	34,390	36,252
(純資産の部)		
株主資本	25,238	27,168
資本金	9,839	9,839
資本剰余金	5,875	5,875
利益剰余金	9,862	11,781
自己株式	△ 339	△ 328
その他の包括利益累計額	3,602	3,167
新株予約権	50	56
非支配株主持分	467	490
3 純資産合計	29,357	30,883
負債・純資産合計	63,747	67,135

■ 連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

	前 期 (自 2015年4月 1日 至 2016年3月31日)	当 期 (自 2016年4月 1日 至 2017年3月31日)	
売上高	52,199	52,121	
売上原価	40,814	39,686	
売上総利益	11,385	12,435	
販売費及び一般管理費	8,836	9,196	
営業利益	2,549	3,238	4
営業外収益	442	454	
営業外費用	549	794	
経常利益	2,442	2,898	5
特別利益	99	42	
税金等調整前当期純利益	2,541	2,941	
法人税、住民税及び事業税	596	796	
法人税等調整額	370	△ 342	
当期純利益	1,574	2,487	
非支配株主に帰属する当期純損失 (△)	△ 31	72	
親会社株主に帰属する当期純利益	1,605	2,415	6

■ 連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

	前 期 (自 2015年4月 1日 至 2016年3月31日)	当 期 (自 2016年4月 1日 至 2017年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,738	6,434
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,743	△ 5,023
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 835	△ 751
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 155	△ 138
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3	521
現金及び現金同等物の期首残高	4,109	4,112
現金及び現金同等物の期末残高	4,112	4,634

解 説

4 営業利益 (27.0%増)

為替が円高に振れたものの、増産効果や原価低減の効果により増益となりました。

5 経常利益 (18.7%増)

為替差損が発生したものの、営業利益の増加により増益となりました。

6 親会社株主に帰属する当期純利益 (50.5%増)

経常利益の増加に加え、一時的な法人税等調整額の減少によるものであります。

トピック1

「発想の転換から生まれたディンプルライナ」

ピストンリングとシリンダライナの内周間は気密性が重要なため、お互いを平滑面に仕上げ、摺動させることが一般的でした。

ディンプルライナは、この常識を覆し、シリンダライナの内周面に微細なディンプル処理を施すことでピストンリングとの摩擦を低減し、エンジンの燃費向上を実現した世界初の製品です。

ピストンリングとシリンダライナ摺動面とのシール性能はそのままに、シリンダライナ摺動面の気密性に影響しない範囲に微細なディンプルを設けて、油膜発生面積を減らすことで摩擦低減に成功しました。

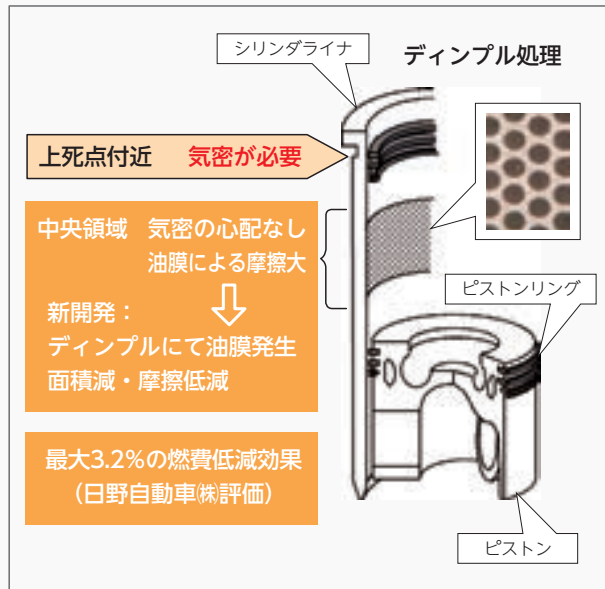
現在、日野自動車(株)の国内新型エンジンには全面採用をいただいております。

今後もディンプルライナ等の技術革新により更なる摩擦低減を図り、地球環境の保全活動に貢献してまいります。

(日野自動車(株)との共同特許取得済)



出展：日野自動車(株)HP



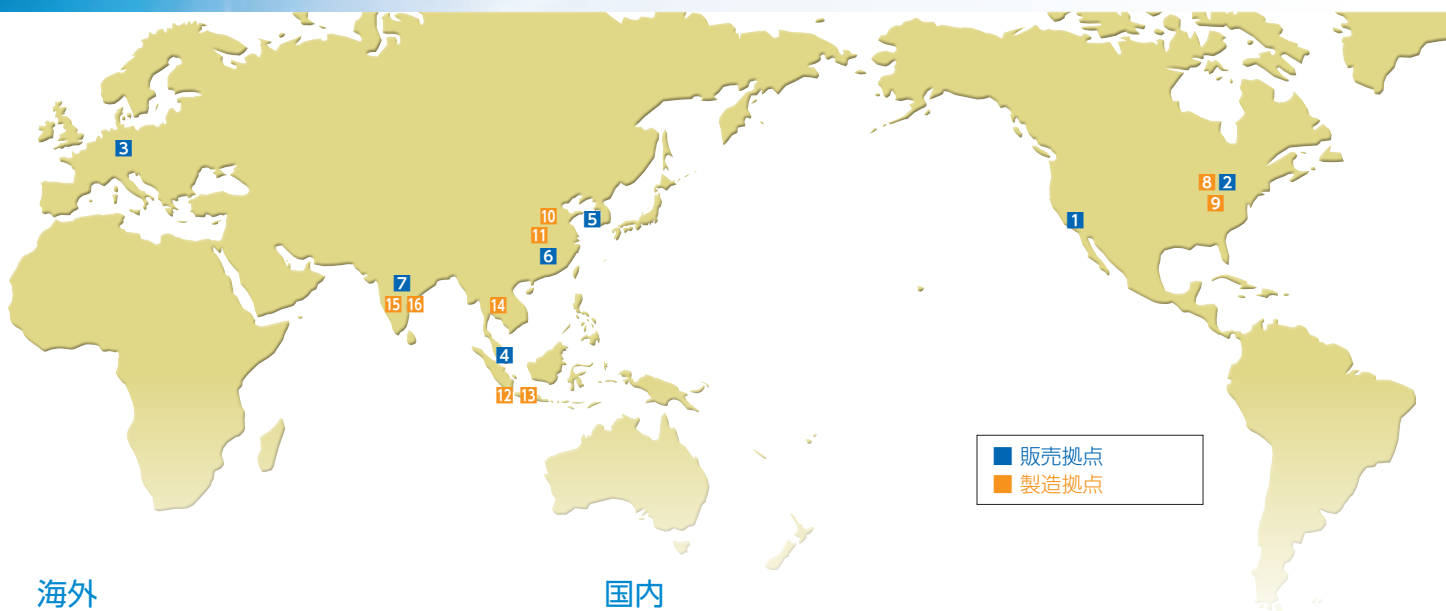
インドで新工場を操業開始 (NPR AUTO PARTS MANUFACTURING INDIA PRIVATE LIMITED)

市場拡大が期待されるインドにおいて、2013年7月より貸工場にてバルブシートの生産を開始しましたが、販売が好調に推移する中、生産能力を増強するため、2017年1月にインド南西部カルナタカ州にNPR AUTO PARTS MANUFACTURING INDIA PRIVATE LIMITEDのバルブシート新工場を設立し、操業を開始しました。

今後は、さらなる受注が見込まれており、工程内の設備導入などをさらに推し進めるとともに、地域に根差した事業展開を目指し、インドでの事業拡大につなげていく方針です。



グローバルネットワーク



海外

- 1 NPR of America, Inc.ロサンゼルス営業所 (米国)
- 2 NPR of America, Inc.デトロイト営業所 (米国)
- 3 NPR of Europe GmbH (ドイツ)
- 4 NPR SINGAPORE PTE. LTD. (シンガポール)
- 5 NPR Korea Representative Office (韓国)
- 6 日環自動車部品製造 (儀征) 有限公司 広州営業所 (中国)
- 7 NPR AUTO PARTS MANUFACTURING INDIA PRIVATE LIMITED グルガオン営業所 (インド)
- 8 NPR of America, Inc.ミシガン事業所 (米国)
- 9 NPR of America, Inc.ケンタッキー事業所 (米国)
- 10 日環自動車部品製造 (儀征) 有限公司 (中国)
- 11 儀征日環亜新科粉末冶金製造有限公司 (中国)
- 12 PT. NT PISTON RING INDONESIA (インドネシア)
- 13 PT. NPR MANUFACTURING INDONESIA (インドネシア)
- 14 Siam NPR Co., Ltd. (タイ)
- 15 NPR AUTO PARTS MANUFACTURING INDIA PRIVATE LIMITED (インド)
- 16 IP Rings Ltd. (インド)

国内

- 本社 048-856-5011
- 17 東京営業部 048-856-5028
- 18 国際営業部 048-856-5020
- 19 名古屋営業部 052-509-1681
- 20 大阪営業部 06-6303-6451
- 21 船用事業推進部 048-856-5203
- 22 広島営業所 082-228-2244
- 23 福岡営業所 092-474-0761
- 24 仙台営業所 022-237-0731
- 25 札幌営業所 011-825-1961
- 26 ㈱日本リングサービス 048-856-5201
- 27 栃木工場 0280-57-1111
- 28 ㈱日ピス岩手・一関工場 0191-31-2111
- 29 ㈱日ピス岩手・千厩工場 0191-53-2011
- 30 ㈱日ピス福島製造所 024-565-5111



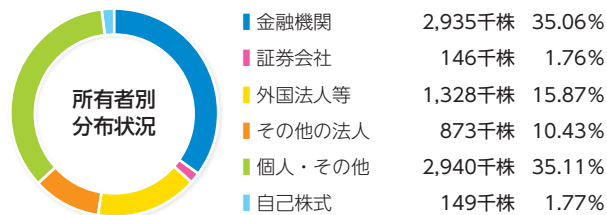
■ 会社の概要 2017年3月31日現在

商号	日本ピストンリング株式会社
本社所在地	埼玉県さいたま市中央区本町東5-12-10
設立	1934年（昭和9年）12月20日
資本金	98億39百万円
従業員数	連結：2,918名 個別：673名
主な事業内容	ピストンリング、バルブシートをはじめとした国内外の自動車関連製品・陸船エンジン用組付・補修部品ならびに医療機器、その他各種部品の製造・販売

■ 株式の状況 2017年3月31日現在

発行可能株式総数	19,545,000株
発行済株式の総数	8,374,157株
株主数	7,552名

■ 株式分布状況



■ 役員 2017年6月29日現在

取締役社長	山本 彰	執行役員	太田 一人
取締役副社長	大石 滋	執行役員	津田 信徳
常務取締役	坂本 裕司	執行役員	小川 義孝
常務取締役	高橋 輝夫	執行役員	小野寺義男
取締役	藤田 雅章	執行役員	越場 裕人
取締役	楊 忠亮	執行役員	梶原 誠人
取締役	南雲 良介		
取締役	石井 歓		
常勤監査役	佐藤 嘉博		
常勤監査役	平石 巖		
監査役	石橋 博		
監査役	高井 治		
監査役	木村 博紀		

■ 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
トヨタ自動車株式会社	552	6.71
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社（信託口）	449	5.47
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社（信託口）	388	4.72
朝日生命保険相互会社	259	3.15
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	208	2.53
日本ピストンリング持株会	166	2.03
株式会社新生銀行	165	2.01
東京海上日動火災保険株式会社	157	1.91
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	156	1.90
三菱UFJ信託銀行株式会社	148	1.80

(注) 1. 自己株式（149千株）は上記記載から除いております。
2. 持株比率は自己株式（149千株）を除いて計算しております。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL. 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う。 公告掲載URL http://www.npr.co.jp/ ただし、電子公告による公告をすることができない事 故、その他のやむを得ない事由が生じた場合には、日 本経済新聞に公告いたします。

お知らせ（ご注意）

1. 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



日本ピストンリング株式会社

〒338-8503 埼玉県さいたま市中央区本町東5-12-10
TEL. 048-856-5011 FAX. 048-856-5035 <http://www.npr.co.jp/>

当社ホームページのご紹介



会社案内、製品紹介をはじめ、最新のIR情報、技術情報、環境への取り組み状況等を適時掲載しております。

<http://www.npr.co.jp/>

